

## 今週のメニュー

## ■トピックス 1

◇越谷レイクタウン Act ECO WEEK 2016 に参加

## ■トピックス 2

◇技能競技大会見学報告

## ■編集後記

## ■トピックス 1

## ◇越谷レイクタウン Act ECO WEEK 2016 に参加

10月22日(土)~23日(日)に、Act ECO WEEK 2016 実行委員会主催\*で、「Act ECO WEEK 2016」が越谷レイクタウンで開催されました。

「Act ECO WEEK」は、地域住民およびその他の地域住民に対して、環境共棲を先導する『日本一のエコ・環境・安心タウン』を目指すイベントで、その規模と内容から国内でもかなり大きな注目を集めている毎年恒例のイベントです。越谷レイクタウンにて今年で九回目の開催となりました。塩ビ工業・環境協会(VEC)も、環境学習の一翼を担うべく、今年初めて参加いたしました。



VEC ブース付近 (mori エリア水の広場)  
(全部で4エリア11会場にて開催)

※ 主催：Act ECO WEEK 2016 実行委員会 (埼玉県環境部エコタウン環境課、越谷市環境経済部、越谷市環境推進市民会議、(一社)越谷市環境協会、イオンレイクタウン mori・kaze・OUTLET、(株)UR リンテージ、(株)積水ハウス)

協力：越谷市教育委員会、イオン1%クラブ、イオン環境塾、イオンチアーズクラブ

参加団体・企業：環境省関東地方環境事務所、東京商工会議所、(公財)日本自然保護協会、埼玉県みどり自然課、NPO 法人いろいろ生きものネット埼玉、東日本旅客鉄道(株)大宮支社、VEC 等 全 16

VEC ブースでは、いろいろなプラスチックがその特性に応じた様々な場面に使用され、暮らしに役立っていること、その中でも塩ビが省資源、長寿命な素材でマテリアルリサイ



VEC ブース

クル性などの環境性能に優れていることを理解していただくため、パネルと様々な製品を展示、紹介しました。また、硬質塩ビを使って海の生き物たちのセットシートを作製、ジンベイザメ、クマノミなどをその場で組み立てていただく企画で、子供だけでなく大人にも楽しんでもらい、同時に塩ビの印刷性の良さなど硬質塩ビの特長を、実際に触ることで理解していただきました。



**PVC 工作**  
「海の生き物を  
組み立てよう」



シートから切り抜き組み立てるだけで様々な海の生き物たちが出来るのが人気で、時間を忘れ没頭する子どもたちが沢山見受けられました。また、用意した塩ビ製キャラクター消しゴムが人気で、約 1,500 個の消しゴムが全て無くなりました。

一緒に参加していただいた保護者の方々には、省エネに貢献している塩ビ製樹脂窓や食品サンプル、レインブーツなど様々な用途で塩ビ製品が使用されていることの説明に興味を持っていただきました。参加された家族のみなさん、環境意識がとても高く、

塩ビが省資源で、リサイクル性にも優れているとの説明を熱心に聞いていただきました。2 日とも晴天に恵まれ、埼玉県内外の非常に多くの方々に参加され、VEC ブースには総勢 1,000 名近くの方々に来場いただくことができました。

Act ECO WEEK は実行委員長の CW ニコルさんによる「地球にいいことスクール」(トンボサミット)、環境 3R マイスターで活躍中の白井貴子さんのミニコンサート等様々なイベントもあり、Act ECO WEEK 実行委員会のペットボトルに願いを書き込んで「エコペットボトルツリー」づくり、埼玉県環境部エコタウン環境課の住宅用太陽光あんしんモデル紹介など、各ブースで色々な展示、工作・体験学習に参加された方々は有意義な時間を過ごされたことと思います。

初めての参加でしたが、お世話をされた実行委員会の方々の努力で無事に終えることが出来ました。感謝致しますと共に、今後ともこの活動を応援していきたいと思っています。

## ■トピックス 2

### ◇技能競技大会見学報告

9 月 27 日、すみだ産業会館（錦糸町）にて第 29 回ジェイシフ関東技能競技大会が開催されました。この大会は、ジェイシフ（日本建設インテリア事業協同組合連合会）が人材の確保・育成を目的として主催するものです。競技種目は、プラスチック系床仕上げ作業部門と壁装作業部門の二つです。プラスチック系床材とは主に軟質塩ビシートで、壁装材は紙・布と塩ビです。両部門とも同一の作業を同一の材料で行い、制限時間内の仕上げ具合を競うものです。

#### プラスチック系作業部門：

プラスチック系作業部門は、写真「before」の木工作业ベースを題材として、床材の塩ビシートで加工して仕上げる（写真「after」）というものです。準備された木工作业ベースに、事前に渡された設計図を基に塩ビシートを切り出し、それを接着剤で貼ってゆきます。階段部分は、長方形ではなく台形だったり、階段の立ち上がり部分は逆傾斜がついていたり、円形の切り出し処理（塩ビ配管周り）が必要だったり、多くの技術が試されるようになっていきます。

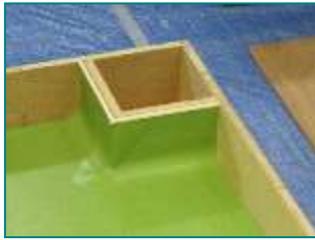


before



after

になっていきます。



塩ビ床材による複雑な  
形状処理

同じ色でも、設計図通りの指定長さでない場合はもちろん減点対象ですが、合わせた面の平滑性や特殊な配管周りの仕上げ具合などが評価されるようです。

柔らかいながらも安価で、耐水性・耐摩耗性・難燃性・耐薬品性などに優れている軟質塩ビ素材ですが、プロの作業を見ていると非常に加工しやすい素材でもあることが分かります。

### 壁装作業部門：

壁装作業部門は、3面の題材となる壁に紙（和紙）・布・塩ビ壁紙で特定の意匠を施すというものです。紙は、作業の工程手順がポイントとなり、薄く切れやすい素材の為技量の差が出やすい素材です。布素材は伸縮性が大きい為しわやジョイント部の処理が難しく不具合が出やすいようです。3面の中では塩ビ壁紙の題材が一番複雑で、凹凸処理や切り返しの処理が必要なものでしたが、正確な切り出しさえ行えば職人さんには扱いやすい素材といえるようでした。



塩ビ壁紙



紙壁紙



作業風景

写真のものは、しわ一つなく仕上がっている、この競技の優勝者の作業結果です。布と塩ビの壁紙では、切り返しや合わせ部分の平滑性と、端部の仕上がりの丁寧さを評価されているようでした。合わせ目をそろえようとして無理にテンションをかけると、系時で剥がれたり浮いたりという問題が発生するとのことでした。紙、布、塩ビ、それぞれの特徴を把握していなければできない作業であることが分かりました。

### デモンストレーション：

熟練技能士が上記のプラスチック系作業部門と壁装作業部門の同じ題材で作業のツボを説明しながらデモするコーナーと、それに加えてカーペットの加工作業（裁断、縫合）のデモのコーナーも設けられて、イベント性をアップしていました。

プラスチック系作業部門の競技参加者は11名、壁装作業部門は10名で、経験年数は8年から32年までと幅広い方が競っていました。厳選なる審査の結果、両部門の優勝者は同一の会社の職人さんとなり



動画を撮っている  
外国人研修生

ました。建築・建設関係を志望する人材は近年増えているそうですが、インテリア部門は別で、人材不足とのこと。そのような状況の下、関係業界への働き掛けも功を奏し、本大会は去年の倍の400名程度の来場者数となったとのことでした。若い女性や外国の研修生も多く来場されており、近い将来人材不足も解消されることが期待されます。



審査風景

## ■ 編集後記

秋の花といえば秋桜が思い浮かびます。今年も、都内では秋桜の名所である立川市の昭和記念公園に出かけて、紅色や白色の花が一面に咲きひろがる秋桜畑を觀賞してきました。また、別の場所ではキバナコスモスの畑があって、こちらは花が密集して雄大に咲き誇っている様子が窺え、印象的でした。歌詞でも知られている薄紅色の秋桜と比べて対照的に、キバナコスモスは力強さを感じました。あとで花言葉を調べてみると「野性的な美しさ」というのがあり、まさにその通りでしたね。

背丈より高いキバナコスモス畑の中を巡って、ミツバチを避けながらアゲハチョウを見つけてカメラに収めました。いろいろと変化に富んだ景色に触れると時間がたつのも忘れてしまいます。(UCH)



## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 名原 克典

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)